

【相談】



管用ねじには、R、Rc、Rp、G、PT、PS、PF と、いろいろな記号のねじがありますが、「めねじ」と「おねじ」の組み合わせに、何か決まりがありますか？  
分りにくくて、非常に困っています。

【回答】

「めねじ」と「おねじ」の組み合わせのことを「はめあい」と呼びますが、知らずに、はめあわせを間違ってしまうと困ったことになってしまいますので、下記にて説明しますね。  
また、現在は現JIS規格(ISO対応規格)と旧JIS規格の「めねじ」「おねじ」が混在しているので、さらに分かりにくいですよ。



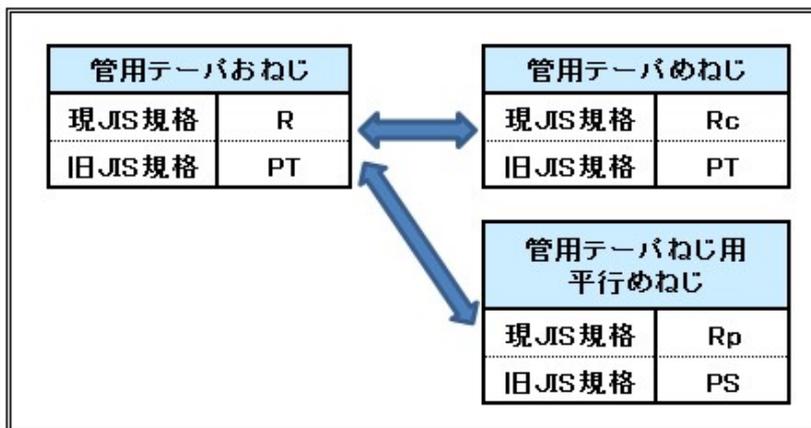
【説明】

ちょっと  
解説！



管用ねじの組み合わせは、「耐密性」の接合を主目的にするものと、「機械的結合」を主目的にするものと、2つに大きく分けられます。  
※ 耐密性を主目的にした「はめあい」は、漏れてはいけないもの（油、ガスなど）を、通す管の結合部に用いられます。  
※ 機械的結合を主目的にした「はめあい」は、漏れを考慮しない（電気コードなど）の、保護管の結合部や、水回り器具の固定用ねじ部などに用いられます。

耐密性を主目的にした、管用ねじの組み合わせ



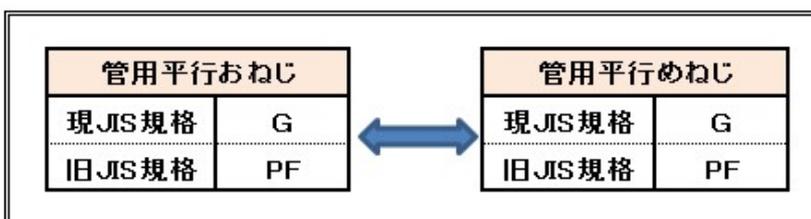
← 組み合わせが、できるものを示

「耐密性を主目的とした管用ねじ」と「機械的結合を主目的とした管用ねじ」は、組み合わせで使用することが、できません。

＜備考＞

1. 管用テーパおねじ「R」と「PT」及び管用テーパめねじ「Rc」と「PT」は、同じ規格値で設定されています。
2. 管用テーパねじ用平行めねじ「Rp」と「PS」も、同じ規格値で設定されています。
4. 管用平行おねじ「G」と「PF」は、同じ規格値で設定されています。
5. 管用平行めねじ「G」は、「PFのA級」と同じ規格値で設定されています。

機械的結合を主目的にした、管用ねじの組み合わせ



簡単に言えば、現行JIS規格と旧JIS規格は、記号が変わっただけなんだね。但し、接合目的の「耐密性」「機械的結合」の違いには注意してくださいね。